

世界教養学科 春期フィリピン研修

プログラム区分	海外実習
主幹部局	世界教養学科
研修先国・地域名 (都市名)	フィリピン (マニラ)
研修先機関名称	アダムソン大学(語学研修)、 貧困地区幼稚園・小学校・ 障がい者施設(インターン研修)
プログラム概要	<p>フィリピンの首都マニラに 6 週間滞在し、世界における貧困・福祉問題に取り組むうえで必要な英語力、考える力、観察力、行動する力を養うことを目的とします。</p> <p>3 週間身をおく現地大学では、(1)英語のコミュニケーション、語彙強化といった授業を受けるとともに、(2)フィリピンの歴史や文化、社会問題、政治や経済の課題などを学ぶ授業を受けます。これらの授業を合計で 120 時間受けることで、英語力を鍛えながら、考える力を養います。観察力、行動する力を養うのは、貧困・福祉問題に取り組む現地諸機関でのインターン実習を通してです。インターンの実習先となるのは、(1)マニラで貧困問題に取り組む NGO の経営する私立幼稚園、(2)貧しい子どもたちに良質な教育を提供する公立小学校、(3)障がい者ケアをおこなうマニラ近郊地域の住民組織、の 3 か所です。幼稚園・小学校では現地教員をサポートし、障がい者ケアをおこなう住民組織では、ソーシャルワーカーや障がい者の家族をサポートします。インターン実習は、3 か所それぞれ 1 週間ずつ実施されます。実習時間の合計は 60 時間です。</p> <p>社会問題に向きあい、その現場で自分を鍛えたいという人は、ぜひ参加を考えてみてください。</p>
日程	2 月初旬～3 月中旬
単位認定	海外研修ⅢA (6 単位)
他学科生の受け入れ	可 受入れ可の他学科：全学科
語学研修の有無	有
語学研修以外の内容	有
申込場所・問合せ先	世界教養学科事務室 (新 2 号館 6 階)
その他	

体験記：世界教養学科 春期フィリピン研修に参加して

世界教養学科 織田 薫

フィリピン研修を通じて得た知識・経験・仲間は、私の大学生活において大切な財産になっています。

6週間の研修では主に、語学・社会問題・開発経済などの学習を大学で行うとともに、幼稚園や小学校・地域にコミュニティなどに実際に訪問することによる体験的な学習も行いました。現場で見たり聞いたりしたことを、みんなで共有し、毎日復習をすることで、より充実した研修にすることが出来ました。また、経験したことを自分の言葉でまとめ、意見を出し合ううちに自然と、より自発的に行動する力が伸びたと思います。

さらに、現地の人々と触れ合う中で、フィリピンについてもっと知りたいと思うと同時に、自分自身についても改めて考えることが多くありました。具体的には、日本文化の紹介や、社会問題について話し合う中で、自分が生まれ育った日本について、もっと知りたい、もっと上手に発信したいと強く感じました。このように、今後の課題も見つけることが出来ました。

フィリピンで経験したこと、感じたことは、他では得られない特別なものだと思います。学校で勉強しているだけではわからない、生の情報を得る良いチャンスです。興味のある方は、ぜひ説明会に参加してみてください。

(2018年度実施)

